

用語解説

用 語	意 味
河川管理者	河川法の規定により、河川を管理する者をいう。
下水道管理者	下水道法の規定により、下水道を管理する者をいう。
洪水調節施設	一時的に洪水流量の一部分を貯めることによって、下流の河道に流れる流量を減少させる(調節する)ために、人工的に建設する洪水調節用ダム、調節池、遊水地などをいう。
調整池	開発者が開発地からの流出雨水量を調節する目的で設置する貯水機能を有する池をいう。
市街化区域	都市計画法による都市計画区域のうち、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域をいう。
霞堤	洪水調節のため、堤防のある区間に開口部を設け、上流側の堤防と下流側の堤防が、二重になるようにした不連続な堤防をいう。
越流堤	洪水調節のため、洪水が堤体の頂部を越えて流れる構造になっている堤防をいう。
遊水機能	洪水の最大流量を減少させるため、洪水を一時的に貯めて調節し、洪水が終わった後にゆっくり流す機能をいう。
内水	堤防の内側(陸地側)に貯まる雨水をいう。
外水	堤防の外側(河川側)を流れる川の水をいう。
雨水貯留浸透設備	雨水を一時的に貯留し、又は雨水の地下への浸透を促進する設備であって、浸水被害を軽減する効果を持つものをいう。
浸水想定区域	河川及び下水道(以下「河川等」という。)において、河川等の洪水防衛に関する計画の基本となる降雨により当該河川等が氾濫した場合に浸水が想定される区域をいう。
ハザードマップ	自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもので、河川の氾濫を想定した「洪水ハザードマップ」、内水の浸水被害を想定した「内水ハザードマップ」などがある。兵庫県では、パソコンから簡単に閲覧できるCGハザードマップも制作している。
二線堤	川沿いにある本堤が決壊した時に氾濫による被害を軽減するため、本堤とは別に、陸地側に造られた第二の堤防をいう。
輪中堤	特定の区域を洪水による浸水被害から守るため、その周囲を囲むように築造された堤防をいう。